

# 新型コロナウイルス関連情報

## 新型コロナウイルスワクチン接種

令和4年9月5日までの情報で作成しています。  
最新の情報は、市のHPなどで随時お知らせします。



### オミクロン株対応ワクチン接種の準備を進めています

国は、初回接種（1・2回目接種）を終えた12歳以上の方を対象に、現在、感染の主流となっているオミクロン株に対応したワクチンの接種を実施する方針を発表しています。

日立市でも、円滑かつ確実に接種を行うことができるよう準備を進めています。

**予約・接種開始時期や接種場所など、詳細が決まり次第、市報や市のHPなどでお知らせします。**

\* 1・2回目接種を希望される方は、ワクチン接種ひたちコールセンターへ問い合わせてください。



### 5歳～11歳の3回目接種の準備を進めています

1・2回目接種を終えた5～11歳のお子さんにも、3回目の接種を実施することになりました。

使用ワクチン：小児用ファイザー社ワクチン \* 12歳以上のワクチンとは異なります。

**予約・接種開始時期や接種場所など、詳細が決まり次第、市報や市のHPなどでお知らせします。**

問合せ ワクチン接種ひたちコールセンター ☎ **050-3646-5466** FAX 85-8010

\* 副反応に関すること…茨城県新型コロナワクチンコールセンター ☎ 029-301-5394

レゴ-レ



## 新型コロナウイルスへの対策

### 自宅療養中の方を支援しています

市では、陽性となって自宅で療養している方のうち、同居家族や近隣に親族、知人などがおらず、食料品などの調達が難しい方を支援しています。



#### ■ 食料品・日用品の支援

レトルト食品、飲料水（ひたちの水）、おかゆ、粉ミルク、離乳食、おむつ、生理用品などを無料でお届けします。

**POINT!** 支援品は **ご自宅の玄関前** にお届け



■ 午後3時までに申し込んだ方は **翌日** にお届け

\* 午後3時以降の方は、翌々日

**POINT!** 土・日曜日、祝日も配送

#### ■ 生活相談

療養期間中の生活上の不安などについて、電話で相談を受けます。



\* 詳しくは、右記QRをご覧ください。



**申し込み** 電話で、健康づくり推進課 ☎ **21-3300** FAX 27-2112 へ

### PCR検査を平日毎日実施しています

**期間** 9月30日(金)までの月曜日から金曜日（祝日を除く）

**対象** 無症状の市民の方

\* 濃厚接触者や既陽性者の陰性確認、発熱などの風邪の症状がある方は対象外

**自己負担金** 1,000円（生活保護を受けている方または世帯の全員が住民税非課税の方は無料）

**定員** 1日50人。定員になり次第、受付を終了します。

**申し込み** 検査日(検体提出日)前日の午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)までに電話で、健康づくり推進課 ☎ **21-3300** FAX 27-2112 へ

\* 詳しくは、上記QRをご覧ください。



# 自分らしくかがやく

自分のため。未来のため。

特集 かがやく未来へ進む、日立の若者たち



「自分たちがかがやけば、  
まちもかがやく！」

そんな思いを抱いた若者たちの新たなチャレンジが、今、日立市のあちこちで生まれています。

このまちで若者が自分らしく生き、かがやくための基盤づくりを進める仲間たち、自分がやりたい分野で団体を立ち上げ地域に貢献する大学生、ソーシャルビジネスに挑戦する地域おこし協力隊、ボランティアを通じて地域貢献に取り組む高校生など。

日立市は、豊かな自然や温暖な環境下での生活を享受できる一方、人口減少や少子高齢化など、多くの地方自治体と同じように、難しい課題に直面しています。

その私たちのまちで、

「生まれ育ったまちに貢献したい」

「このまちの魅力をもっと知って欲しい」

との思いから立ち上がる若者たち。

彼らは、自分の未来、そして日立の明日のために、勇気を持って次の一步を踏み出しました。

今号では、かがやく未来へ向かって進む若者たちの、今を生きる情熱や日立のまちへの思いに迫ります。

# 自分らしく楽しく生きながら、このまちをかがやかせたい

私が考える「自分らしく」は、何か一つの活動にとらわれず、やりたいうことを楽しく、地元のために自分のスキルをいかしたいということ。現在、ひたち若者かがやき会議の発信プロジェクトのリーダーとして、昔から取り組みたいと思っていた事業モデル「発信を増やしてチャレンジと応援がしやすいまちづくり」に、私自身の体験をいかしながら取り組んでいます。実験の一つ目は、「好きなこと」は知っていることからしか見つからない」ということ。だから

## 地域の発信人を「集めて」「育てたい」



にいづま もとみ  
新妻 幹生 さん  
(ひたち若者かがやき会議)

ひたち若者かがやき会議の運営に携わるコアメンバーとして活躍するとともに、会議の発信プロジェクト「HITACHEER」のリーダーとして、若者への「伝え方」教育や、県北地域の発信力向上・地域活性化のための活動を行っている。

こそ、たくさんの人を知る機会を作ってあげて、好きなモノやコトを増やしてほしいと思っています。二つ目は、「二人は有限、皆なら無限」であるということ。多様な人々とのコミュニケーションから生まれるアイデアは、自分一人では絶対に出てこないものばかりでした。まずは、これらの体験をたくさんの方々と共有したいです。そして、これからもこのまちがイキイキ・ワクワクしている地域であり続けられるように、そこで発信できた好きなモノやコト、生まれたアイデアなどを発信するような地域の発信人を「集めて」「育てたい」んです！

## 若者かがやけばまちもかがやく

「私の活動は、私個人にとっても、関わる組織にとっても、地域にも良いものになるはず！」そう信じて一歩ずつ進んでいます。

やりたいことは全部やって、全部楽しんで、関わった全てに還元できるパワーを与えられる。そんな人生を送ってみたいです。皆が同じ方向に向くように引っ張っていく役割を担い、関わる人の体感温度を1℃上げられるような人間を目指しています。

そのほうが自分も楽しいし、そういうことができる人間であれば、どんな時代・場面でも必要とされるのではないのでしょうか。

自分の「やりたい」という声に素直に、本気で取り組み、本気で楽しむ！

そのような若者をもっと増えれば、このまちがよいかがやくと思っ

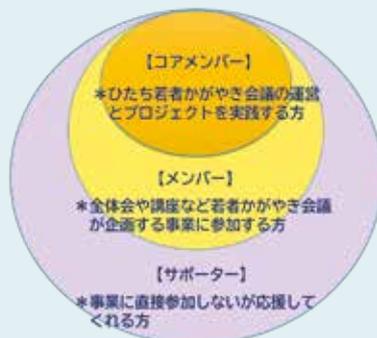


## コアメンバーリーダー



コアメンバーが実践する各プロジェクトのリーダー。写真左から、高久香里さん、藤田浩一さん、新妻幹生さん、松村泰葉さん。

## 若者かがやき会議組織図



## 若者かがやき会議設立



まちづくりや地域課題解決のための取組を若者の自由なアイデアで実践できる組織として市が設立（昨年7月7日）

「かがやく若者であふれるひたち」を目指して

## このまちのために立ち上がる大学生たち

このまちには潜在する「地域の熱」がたくさんある。何かのきっかけでもっとかがやけると信じて取り組んでいきます。

「学生だからできること」があるはず！  
地域のことは学生より地域の人が知っている。だから私たち学生は、地域に足を運び、地域ならではの魅力を発見する。そして、学生のアイデアや創造力をいかして、その魅力を発信していく。

地域の人と関わりを持つようになったきっかけは、大学の研究室のメンバーでつくった「Tagania」という団体での活動です。そこでたくさんの人と出会い「若者にもっと来てほしい」「地域を盛り上げたい」という多くの声を聞き、学生としてもっと何かできないかと考え始め、昨年、自分で「Hyphen」を立ち上げました。現在は、茨城キリスト教大学と連携し50人ほどの学生で、地域の活性化に向けた取組を進めています。

### 「地域の熱」をまちづくりにつなげたい



やすがひら れお  
**安ヶ平 玲央**さん  
(茨城大学大学院 1年生)

県外から茨城大学に入学。日立市に来た時に、若者が遊ぶ場所がない、まちに活気がない印象を受ける。大学での活動を通じ、地域の熱を感じ、地域活性化を目的とした団体「Hyphen」を設立。

仲間たちとの活動の中で、たくさんの人と出会い、いろいろなことを経験し、人と人、地域のつながりの大切さ、仲間の温かさを感じています。私は、「食」に関わる仕事をしたい！食べることが大好きですから（笑）。もちろん今のつながりが永遠に続くようにサポートもしたいし、ずっと大好きな日立市の役に立ちたいです。

コロナの影響で私たち大学生の活動が制限され、悔しい気持ちでいっぱいでした。コロナが落ち着いた頃、「やっぱりやりたいことをやりたい！」「今しかできない！」「という思いが弾け、今の「日立メニュー開発研究部」を立ち上げちゃいました（笑）。  
市のイベントで自分たちが開発したスコーンを販売した際は、地域の方々がたくさん声をかけていただきとても感激しました。現在は、ひたち若者かがやき会議で交流できた「夢ひたちファームなか里」のブルーベリーを使ったスムージーを開発しています。

### 「食」を切り口に地域に笑顔を届けたい



なかじま  
**中嶋 えりな**さん  
(茨城キリスト教大学 2年生)

大学で専攻する「食」を切り口に地域に貢献したいという思いで「日立メニュー開発研究部」を設立し、イベントなどを開催。Hyphenとも連携。ひたち若者かがやき会議では、発信プロジェクトメンバーとして活動中。



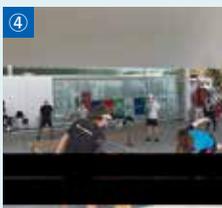
①



②



③



④

- ① **発信プロジェクト【通称：ヒタチアー** プロジェクトリーダー：新妻幹生  
若者目線の発信ポータルサイトを作り、日立市の良さを再編集したい。
- ② **産直講座プロジェクト** プロジェクトリーダー：高久香里  
日立市で暮らし、働き、活躍する若者「ひたちびと」を発掘・紹介し、「海」や「山」などの日立市の魅力を伝え、日立市で暮らすことを考えるきっかけをつくりたい。
- ③ **コンシェルジュプロジェクト** プロジェクトリーダー：松村泰葉  
子育てというテーマのもとに垣根を越えてつなぐ・つながるプラットフォームをつくりたい。
- ④ **つなぐプロジェクト【通称：CAPI】** プロジェクトリーダー：藤田浩一  
一点在る若者組織をつなぐ組織になりたい。
- ⑤ **若者の"場"づくり【共通検討項目】**  
若者の活動拠点をつくりたい。

# ソーシャルビジネスで若者主体の新しいまちづくり

人口減少や中心市街地の空洞化、それに伴う地元中小企業の採用難といった課題に直面する日立市。実際に来てみると、山や海の自然環境だけでなく、オフィススペースの提供や市の手厚い支援、地域企業をサポートする産業支援セン

永松さん

シリコンバレーのように  
広報の力で企業・起業家が  
活躍するまちへ



ながまつ ゆうし 永松 裕士さん × あかばね ゆうと 赤羽 悠斗さん  
(起業型地域おこし協力隊)

学生時代にそれぞれ海外生活を経験。そこで地域の抱える課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネスの重要性を感じる。今年度、茨城県の起業型地域おこし協力隊（在任期間3年）に任命され、日立市を拠点に活動中。現在、それぞれが考える「やりたい」・「やるべき」分野でソーシャルビジネスの実践にチャレンジしている。

ターなど素晴らしい環境が整っていて「このまちをもっと魅力的にする事ができる」と感じました。「高い技術力を有しながらPRに苦戦している企業が多い」「地域の魅力を伝えきれていない」そういったまちが抱える課題をビジネスの手法を用いて解決したいと考え、コンサルティングから企画立案、映像製作まで総合的に携わるPR団体「monotalk Studio」を設立しました。夢は大きいですが、広報事業を通じて、日立市をアメリカ・ロサンゼルスなどのシリコンバレーのように企業・若い起業家が集まるまちにしたいと思っています。

赤羽さん

大好きなアボカドで  
まちおこし



たまたま訪れた日立市の素晴らしい自然に惹かれたこと、そして気候的にもアボカドの栽培に適していることから、移住を決意しました。大好きなアボカドの栽培を通じて、日立市が直面する課題に取り組み、地域の活性化に貢献したいという思いから「Pieces Farm」を立ち上げ、現在は、仲間（神田氏）とともに、茂宮町を拠点に新たな特産品「日立アボカド」を作るべく活動をしています。アボカドは実を付けるまでに3

5年かかりますが、ただアボカドを育てるだけでなく、「耕作放棄地を有効活用」したり、「家庭から出る生ごみを堆肥化」するなど、新しい農業の形を目指して、地域の方と協力してアボカド栽培に取り組んでいます。そしてゆくゆくは、農業を担う次世代の育成に関わり、農業という切り口で「挑戦しやすいまちづくり」を進めたいと思います。

永松さん

赤羽さん

自分らしく生きながら、  
誰かのため、地域のために



アボカド栽培のため放置されたビニールハウスを長期契約  
(写真は赤羽さん(左)と仲間の神田さん(右))

課題や問題に対して意見を言う人はたくさんいますが、その課題解決のために何か実践しようとする人は少ないのではないのでしょうか。まずは、自身の事業を採算ベースに乗せたい。そして、得た収益を次のチャレンジに回すような仕組みを作りたい。その上で、地域で頑張る人、何かやりたいけれどやり方が分からない人、何かに挑戦したい人をサポートして他の若者に行動を促したいと思っています。自分らしく生き、それが誰かのためになっっている、そういうビジネスを展開していきたいです。

# 誰かのために。思いを行動につなげる高校生たち

「地域に出て新しいことを発見する」「知らない人と触れ合い、楽しむ」「困っている方をサポートする」。そのような活動に仲間たちと笑顔で取り組み、周りの人から「楽

私たちが日立ヤングリーダーズクラブは、子どもたちや地域のためにイベントのお手伝いや自らのイベントを企画したりする高校生主体の組織です。私が加入した2年前に20人前後だった仲間は、今では40人ぐらいに増えました。

未来を担う子どものため、私たちができることをやりとげたい



にしめ ゆうみ  
西銘 優海さん  
(明秀学園日立高等学校3年生)

子どものころから人と接することが大好き。小学生の時は日立市子ども会連合会、中学生の時は中学生リーダー会に所属。現在は、子ども会活動のサポートやイベントの企画運営を行う「日立ヤングリーダーズクラブ」の会長として活動中。



イベントに向けてメンバーでミーティング

57年の歴史を持つ日立ヤングリーダーズクラブ。このクラブを通じて、子どもたちの笑顔を増やしたい。そして、まちを明るく元気にしたい。未来の日立市が子育てしやすく、ずっとずっと笑顔があふれるまちになってほしいです。

しかった」「助かった」と声をかけてもらえると、とても嬉しい気持ちになります。

「二人で活動するには限界がある」これは日立ヤングリーダーズクラブの活動で学んだことです。だから「貧困問題に興味がある人を集めて、団体をつくろう!」と思いつき、「Your neighbour」を立ち上げました。メンバーは20人ぐらいで、「人のために」「社会をより良く」という同じ思いで活動しています。

自分の居場所を求めてボランティア活動に参加し、活動の中で、貧困問題に興味を持つようになり、もっと関わりたいという思いが強くなりました。

生活に困っている人を助けてよりよいまちにしたい



まつぎま はなか  
松崎 花香さん  
(日立第一高等学校3年生)

高校2年生のときから子ども食堂や無料学習塾などのボランティア活動に参加し、次第に貧困問題に興味を持つ。「もっと関わっていききたい」という思いから、今年6月にボランティア団体「Your neighbour」を設立。



子ども食堂でボランティア活動

情になったり、活力が湧かずに事に就けなかったりする。だからこそ、「居場所づくり」が重要です。大学進学で地元を出たとしても、いずれは日立市に戻って、「居場所づくり」に関わっていききたい。立ち上げた団体を次の世代につなげていくためのサポートもしたい。興味がある方、ぜひ参加してみませんか。



# 未来を **かがや**かせる

**これからの日立市の話をしよう！**

**若者会議全体会 Vol.2 参加者募集**

若者世代（18～39歳）が集まり、自由にディスカッションを行います。

**とき** 11月開催予定

**ところ** 日立シビックセンター

**問合せ** 女性若者支援課

☎ 26-0315

詳しくは  
こちら！





## それぞれの思い、それぞれの行動が、

挑戦を恐れず、  
 自分らしく  
 生き生きと暮らす  
 若者があふれるまち。  
 まちはにぎわい  
 活気に満ちている。  
 その先には、  
 かがやく未来がある。

『かがやく若者であふれるひたち』

若者の皆さんを**応援**します!!

**資格取得補助**  
18 から 39 歳までの方の資格取得費用の一部を補助!



**若者活躍応援補助**  
まちの活性化などにチャレンジする若者団体の活動経費の一部を補助!



問合せ 女性若者支援課 ☎ 26-0315